

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 6 月 27 日(2022.6.27)

【公開番号】特開 2021-16438(P2021-16438A)

【公開日】令和 3 年 2 月 15 日(2021.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2021-007

【出願番号】特願 2019-132324(P2019-132324)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 5 1

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 17 日(2022.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定のエラー状態となる場合を有し、

特定のエラー状態となる場合を有し、

遊技履歴情報を表示可能な所定の表示手段を有し、

電源断処理において、所定の記憶手段に記憶されている情報に基づいて、誤り検出情報を生成して記憶可能とし、

前記所定のエラー状態において、電源の供給が遮断される事象が発生した場合には、電源断処理を実行可能に構成され、

30

前記特定のエラー状態において、電源の供給が遮断される事象が発生した場合には、電源断処理を実行しないように構成されており、

前記所定の表示手段は、第 1 の表示部、第 2 の表示部、第 3 の表示部、及び第 4 の表示部を有し、

第 1 の表示部には、D P セグメントを含む複数のセグメントを有し、

第 2 の表示部には、D P セグメントを含む複数のセグメントを有し、

第 3 の表示部には、D P セグメントを含む複数のセグメントを有し、

第 4 の表示部には、D P セグメントを含む複数のセグメントを有し、

設定変更を伴う電源投入を行うと、前記所定の表示手段の第 1 の表示部、第 2 の表示部、第 3 の表示部、及び第 4 の表示部が有する複数のセグメントの全てを点灯した後に、遊技履歴情報を表示可能とする

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

50

本発明（第４１実施形態）は、
所定のエラー状態（復帰可能エラー状態）となる場合を有し、
特定のエラー状態（復帰不可能エラー状態）となる場合を有し、
遊技履歴情報（指示込役物比率、連続役物比率、役物比率等）を表示可能な所定の表示手段（役比モニタ、比率表示器、又は管理情報表示ＬＥＤ７４）を有し、
電源断処理（図３６０の電源断処理（POWER DOWN））において、所定の記憶手段（ＲＷＭ５３の使用領域のアドレス「Ｆ０００（Ｈ）」～「Ｆ１ＦＦ（Ｈ）」、及び使用領域外のアドレス「Ｆ２１０（Ｈ）」～「Ｆ３ＦＦ（Ｈ）」）に記憶されている情報に基づいて、誤り検出情報（ＲＷＭチェックサムデータ）を生成して記憶可能とし、
前記所定のエラー状態において、電源の供給が遮断（電源がオフに）される事象が発生した場合には、電源断処理を実行可能に構成され、
前記特定のエラー状態において、電源の供給が遮断される事象が発生した場合には、電源断処理を実行しないように構成されており、
前記所定の表示手段は、第１の表示部（デジット６）、第２の表示部（デジット７）、第３の表示部（デジット８）、及び第４の表示部（デジット９）を有し、
第１の表示部には、ＤＰセグメントを含む複数のセグメント（セグメントＡ～Ｇ及びＰ）を有し、
第２の表示部には、ＤＰセグメントを含む複数のセグメント（セグメントＡ～Ｇ及びＰ）を有し、
第３の表示部には、ＤＰセグメントを含む複数のセグメント（セグメントＡ～Ｇ及びＰ）を有し、
第４の表示部には、ＤＰセグメントを含む複数のセグメント（セグメントＡ～Ｇ及びＰ）を有し、
設定変更を伴う電源投入を行うと、前記所定の表示手段の第１の表示部、第２の表示部、第３の表示部、及び第４の表示部が有する複数のセグメントの全てを点灯（「８．８．８．８．」を表示）した後に、遊技履歴情報を表示可能とすることを特徴とする。

10

20

30

40

50